

【100年くらい前になると…】



① 多田野水道の水源 清水池

郡山はますます人口が増え、製糸業もおこったため、水がたくさん必要になり、皿沼水道ではどうすることもできなくなってきました。そこで、「郡山水道会社」をつくり、多田野村（今の逢瀬町多田野）から木管をつなぎ合わせて水を引くことにしました。これは、

多田野水道の水源にな



① 多田野水道の木管

県内では1番、東北では3番目にはやい近代水道なんだよ！

【今の郡山の水道は…】

1910年、多田野水道と安積疏水を水源にして、配水管は竹や木ではなく全部鉄管の近代水道の工事が始まりました。この工事は、とてもお金がかかりました。2年後の1912年、郡山に本格的な上水道が完成したのです。こうして、郡山の人々が猪苗代湖のゆたかな水を飲めるようになったのです。さらに、上水道は広がり、現在は猪苗代湖、三春ダム、逢瀬川、深沢川を水源にして、現在の郡山市民の生活を支えています。

このように、ゆたかな水を求めてあらゆる努力を積み重ねてきた先人の努力が今のわたしたちのゆたかな生活につながっているのです。



① 三春ダム



行ってみよう！ そして先人の努力のあとを感じよう！

●皿沼の水神さま 清水台1-3-8 郡山商工会館入口

●清水池 逢瀬町多田野字木置場49 ●郡山市水道局 豊田町1-4 ☎932-5236

※安積疏水については「わたしたちの郡山市 第4学年」（郡山市小学校社会科資料編集委員会編）にくわしくのっているのを見てみよう。